

- ・法人は、役員、顧問、相談役、政令で定める使用人、専任の宅地建物取引士、大株主(役員以外で発行済株式の50%以上を所有する者)について作成する。
- ・個人は、申請者、政令で定める使用人、専任の宅地建物取引士について作成する。
- ※ 身分(元)証明書及び登記されていないことの証明書を添付すること。(ただし、専任の宅地建物取引士は不要)
- ※ 職歴を1枚に記入しきれない場合は、同じ様式により作成した書面に記載し、添付すること。

添付書類(6)

住民票上の住所と実際の居所が異なる場合は、併記すること。 略歴書

住所	仙台市青葉区本町1-X-△ ケンタクハイツ1号室 電話番号(090)XXXX-☆☆☆☆		
(フリガナ)氏名	ミヤギ タロウ 宮城 太郎	生年月日	S60年4月26日
職名	代表取締役(兼)専任取引士 (常勤)	登録番号	宮城県 第088888号 (宅地建物取引士である者は記入する。)
職歴	期間	従事した職務の内容	
	自H18年4月1日 至H20年3月31日	〇〇センター株式会社 営業ほか	
	自H20年4月1日 至H21年4月30日	求職中	
	自H21年5月1日 至H22年4月30日	株式会社△△建設 取締役	
	自H21年5月1日 至 年 月 日	株式会社××サービス 取締役(非常勤) 現在に至る	
	自R3年4月1日 至 年 月 日	宅建株式会社 (現:建宅不動産株式会社) 代表取締役に就任 現在に至る	
	【「職名」欄について】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人にあっては、登記簿上の役員名を記入するとともに、常勤、非常勤の別を()書きで併記すること。 ・ 個人にあっては、「代表」等と記入すること。 ・ (法人・個人共通) 政令使用人又は専任取引士である者は併記すること。 			
【「職歴」欄について】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校卒業後の職歴として勤務先を記入すること。また、現在他社の役員である場合は、登記簿上の役員名を記入するとともに、常勤、非常勤の別を()書きで併記すること。 ※ 宅建業以外の職歴についても、詳細に記入すること。 ・ 1年以上の中断期間がある場合、その期間についても記入すること。(家事従事、アルバイト等) 			

上記のとおり相違ありません。

令和6年 6月 1日

氏名 宮城 太郎